



南イタリアから巡るクロアチア、スロベニア共和国の旅

今年の夏は、アドリア海に面した旧ユーゴスラビアのクロアチア、スロベニア共和国を南イタリアから巡る旅です。12時間30分のフライトでローマ、レオナルド・ダ・ヴィンチ国際空港に到着。6年ぶりのローマは異常気象で真夏の空からヒョウ、落雷にゲリラ豪雨がやってきました。そして、車は虹のローマを足早に走り、夕方にはナポリに到着。翌朝、ヴェスヴィオ火山の爆発で灰に埋もれた古代都市ポンペイの遺跡見学です。

マリーナ門でガイドのマウロ氏と会い、地中海貿易で栄えた都市を炎天下、歩き回りました。整備された路、水道、共同浴場、スポーツ施設、豪商の館、人々の生活と活気溢れる都市の様子が伺えます。特に、娯楽施設、娼婦館を導く、路地のマーク、絵など、言葉が通じない人でも分かるような工夫に驚き、秘儀荘の壁画「ポンペイの赤」は保存状態が良く見応えがあります。そして、人型に残った抱き合う母子像や苦しむ犬の石膏像は、当時の惨状をリアルに物語っています。亡くなった多くは、ガス吸引による窒素死で2000人～1万人以上が被害に遭ったそうです。ガイドのマウロ氏は汗びっしょりに関西訛りで案内して下さいました。昼食はカプリチョーザのピッツァで済ませ、ポンペイから4時間のユネスコ世界遺産、洞窟住居のマテーラに向かいました。



チビタ地区は、溪谷の斜面にある漏斗状の街で、石畳みを昇っていくと、「サッシ」が並ぶ山あいに到着。家畜も一緒に生活した洞窟住居を見学。狭い空間に家財道具、生活用品が並べられ、オスマン帝国から追われたセルビア人の当時の様子をガイディングで聞き、過酷で劣悪な環境に驚きました。黒い雨雲を避け、イタリア南部の伝統家屋、トゥルッリが可愛いアルベロベッロを散策。夕陽を浴びて三角屋根がオレンジ色に染まる街は、聖母マリア昇天祭で賑やかです。この日は、石畳みを歩き続け、ウォーキングシューズが大活躍でした。夕食に、ワインを頂き爆睡。翌日、クロアチアへ出国です。



バリー港から7時間30分、アドリア海を渡りドゥブロヴニクに着いたのは、予定の3時間遅れの22時です。下船後、入国審査を受け、ホテルシラトン・ドゥブロヴニク・リビエラに宿泊です。リゾートホテルライフの楽しみも無く、翌朝は8時出発。ドゥブロヴニクは、世界でも人気が高く、大型クルーズ船が停泊し、観光客で溢れています。大聖堂、フランシスコ会修道院を見学後、フリータイムです。混雑を覚悟にスルジ山のロープウェイに向かい、30分程、並んで乗車できました。通貨のクーナは少額しかなかったため、乗車券はカードで支払いました。ロープウェイが山頂に昇り始めると、ジブリの世界が広がり



ます。赤い屋根に紺碧の海、白いヨットにワーと歓声をあげました。山頂をざっと周り、下りのロープウェイに乗り、徒歩で城壁に向かいます。聖ルカ要塞から最高地点のミンチェッタ要塞を汗だくで補水しながら、城壁入口ピレ門に到着。お腹も空き、シーフード料理をと思ったのですが、欲張り観光で時間が無くなり、タコのバーガーを美味しく頂きました。欲しかった、ワールドカップ準優勝した、クロアチアサッカーチームのユニフォームを色違いで2枚買いました。その後、宿泊のスプリットのホテルへ直行です。ところが、スプリットに入るには、ボスニア・ヘルツェゴビナを通過するため、入国、出国審査を再び徒歩で受けることに……。1度の旅で、飛行機、船、車と出入国を経験したのは、始めて。パスポートには、それぞれのマークでスタンプが押されています。



スプリットは、クロアチア第2の都市で、アドリア海のリゾート地です。ダルマチアと呼ばれ、皆さんもご存知のダルメシアンが発祥地です。残念ながら、ダルメシアンには遭遇できず、私が首にドット柄のハンカチーフを巻いて、ツアーの皆さんに受けました。椰子のプロムナードで南国の風を感じ、食べたジェラードは美味！ディオクレティアヌス宮殿に鉄の門から入り、大聖堂を見学、金の門、青銅の門を見学し、参加者の親娘の方が記念にペンダントを探していたので、ショップで価格交渉をしたら成功しました。気を良くして、3人でそぞろ歩き。青空市場で目に飛び込んできた楕円形の巨大なスイカには驚きました。次に、クロアチアのベニスと言われるトロギールへ向かいます。



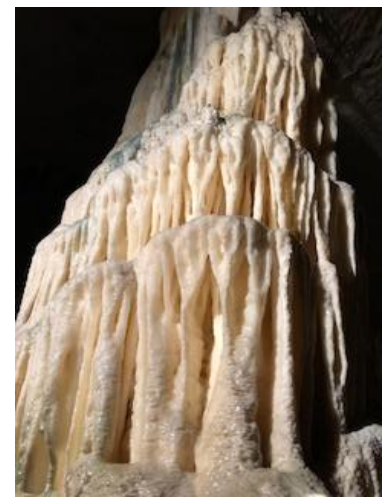
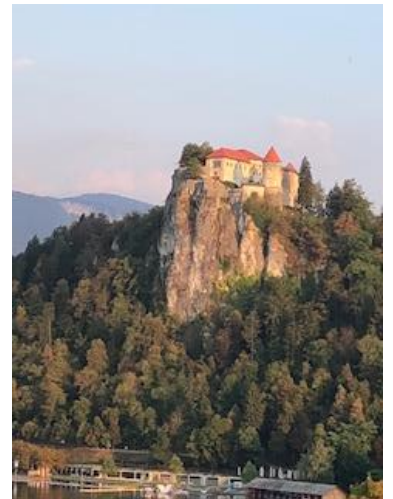
クロアチアから橋1本で繋がっている島は、ギリシャ時代の古都で街全体が中世のままです。特に、聖ロヴロ大聖堂の扉に彫られたアダムとイブ像は宗教美術の傑作です。次の観光地は、涼を求め世界遺産、国立公園のプリトヴィツェに向け、ピレネット山脈を越えます。ザグレブとザダルの中間にあり、16の湖があり、総面積200km²の国立公園です。深い森にエメラルドグリーンの湖と、湖を結ぶ滝が見どころです。最高地点で1280m、最低地点で380mの高低差があります。ハイキングコースをマイナスイオンを感じながら3時間歩きました。遊覧船にも乗り、湖の透明度に感動しました。コロナ川の水源地があり、ドナウ川に流れ込んでいるそうです。木陰は涼しいのですが、青空の下では、気温30度以上で暑い！午後から、スロベニアのブレッドに向かいます。





夕方に、到着して、景色が見えなかったので、朝、目覚めて、崖の上に建つお城が飛び込んできました。静かな湖には、スロベニアで結婚式を挙げたいと人気が高いマリア教会が浮かび、おとぎの世界です。湖を手漕ぎボートで渡り、マリア教会の階段 99 段、鐘楼までの 90 段を上りました。結婚式を挙げるには、新郎は新婦を抱えて、この階段を上って行かなくてはいけないので、体力作りにジムに通い、第 1 試練が試されるとか。愛する女性のため、男性の皆さん如何ですか!!

旅も終盤に入り、ヨーロッパ最大級のポストナー鍾乳洞に向かいました。洞内は、平均気温 10 度、外気温差 20 度以上。コートの貸し出しもあります。21km の洞内のうち、5km が観光コース。トロッコ列車で冒険へ出発。意外に早いスピードで進み、茶色、白色の鍾乳石、石筍が飛び込んできました。鍾乳石は 1mm 成長するには、30 年から 100 年かかるそうです。ビューポイントの説明を聞きながら進みます。鍾乳石でも、シンボルと言われるブリリアントは美しい。2 番目の広さがあるホールで下車し、フローストーン、スパゲティと呼ばれる石筍も見応えがあります。洞内には、類人魚のホライモリが生息しています。暗い水槽の中にひっそりといます。何も食べなくても、1 年近く生息できるそうです。ビューポイントには、ナンバーが付いて、ガイディングレシーバで日本語の説明があります。



見学後、ベニス・メストレのホテルに、夕方到着しました。明日、深夜に帰国します。それまでは、自由時間になります。そぞろ歩きを楽しんだ、親娘の方と一緒に行動することにしました。4 回目のベニスはサマーバケーションの観光客でごった返しです。相談の結果、水上バスで島巡りをすることにしました。1 日券を購入し、まず、ローマ広場からカ・ドーロ、リアルト橋、アカデミア橋、レ宮殿を運河から眺めて、ヨーロッパで人気のリゾート地リド島に上陸し、徒歩で散策。ベネチア映画祭の「ベニスに死す」の舞台、「ホテル・デ・ヴァン」を見て、ビーチ近くのホテルで遅いランチにムール貝パスタとドラフトビールを頂き、めちゃくちゃ美味しかったですよ! また、ヴァポレットに乗船し、カラフルな建物が可愛いブラーノ島で下船しましたが、混雑していたので、時間をかけずにヴァポレットに戻り、アドリア海に浮かぶラグーナで泳いだり、魚釣りをする人を眺めていました。海はキラキラ光り、風も心地よく、ごった返すサンマルコ広場を選択しなくて正解でした。帰国は、ベネチアのマルコポーロ国際空港から、台風の影響も受けずに定刻に成田に到着しました。

ドーモに、ドゥカー



今回は、3 国を巡る、欲張り旅行でしたので、移動も多く、色々な乗り物に乗り、良く歩き、徒歩や船での出入国も体験しました。沢山のガイドさんに、助けられ、元気に帰国



しました。翌日からクロアチアユニフォームを着て、ジョギング再開です。また、素敵な旅の思い出と世界の国が増えました。

渡邊郁美

